## 実例から学び!

**14:00 ▶ 15:40** (開場 13:30)

5日報社 5階ホール (盛岡市内丸3-7)

参加方法

✓ 会場参加

☑ オンライン参加(You Tube Live 限定公開)

講演/14:05 ~ 14:35

逆算思考の企業経営 ~ゴルコと経営に共通する逆算力~

プロゴルファーとして活躍した金谷氏は、30歳で企業家へ転 身。ベンチャー企業を立ち上げ、アパレル事業、ゴルフ事業、不動 産業などで着実な成果を上げ、成長戦略の一つとしてM&Aを活 用して事業を成長させています。プロアスリートならではの「逆 算の思考」と豊富な人脈を生かした、経営哲学を語ります。

バーグルグループ代表取締役社長・プロゴルファー

かな や みね たか

1995年にプロテストに合格し、レギュラーツ アー等に出場。30歳で現役を引退し、2002年 にベンチャー会社を起業した。プロゴルファー の経験を生かし、きたかみカントリークラブを 経営するほか、岩手県オープントーナメントを 主催。ほかにもアパレル、不動産などグループ 全体で五つの事業を展開している。



第2部

■講演/14:35~14:55

事業承継を進める留意点 岩手県内のM&A動向

事業承継やM&Aを進める上での留意点や県内の最新動 向について、専門家の視点から詳しく解説します。

講師

さ さ き やすし いわぎんリサーチ& コンサルティング代表取締役 佐々木泰司氏

1984年4月岩手銀行へ入行し、支店長職、リスク統括 部長、総合企画部長を歴任。2016年取締役、18年常務 取締役に就任。22年6月からいわぎんリサーチ&コン サルティング代表取締役。M&A支援や事業継続支援 業務等、多岐に渡る事業を通じて岩手や東北の経営課 題解決に貢献している。中小企業診断士。



第3部

■トークセッション 15:00~15:40

M&Aを活用した成長戦略

トラック運送業とレッカー事業を行う千葉商店運輸(本社・ 奥州市)は、2024年10月に三八五グループに全株式を譲渡 しました。千葉専務はM&A後も継続勤務し、レッカー部門の 更なる成長に尽力しています。M&Aを検討するに至った経 緯や譲渡先の選定理由、活用して良かった点、苦労した点な どを紹介します。

パネリスト

千葉商店運輸専務取締役

千葉 翌氏 いわぎんリサーチ&コンサルティング サブマネジャー 中村 駿介氏

ファシリテーター/岩手日報総合研究所所長 熊谷 真也氏

主催/岩手日報社 いわぎんリサーチ&コンサルティング

いわて事業承継プロジェクト

事務局:岩手日報社ビジネス開発部

TEL 019-653-4119 (平日9時~ 17時)

E-mail iwatenp-irc@iwate-np.co.jp

お申 し込

二次元コード(申し込みフォーム)または FAX 申込書(裏面)で、お申し込み下さい。

FAX 019-626-1881 お申し込み締め切り 10月22日



問い合わせ

# 実例から学ぶ経営戦略とM&A FAX申込書

FAX 019-626-1881

(岩手日報社ビジネス開発部)

代表者				
会社名				
氏 名		役	職	
ご住所			·	
電話番号		参加方	法	<ul><li>□ 会場参加</li><li>□ オンライン参加</li></ul>
メール アドレス		参加人	数	
参加者	(2人以上参加される場	易合、全員	の氏名	と役職をご記入下さい)
	(2人以上参加される場		の氏名	と役職をご記入下さい)
参加者	(2人以上参加される場	役		と役職をご記入下さい)
参加者氏名	(2人以上参加される場	役 [	<b>戦</b>	と役職をご記入下さい)

### ●個人情報の取扱いについて●

ご入力いただいたお客さまの個人情報は、お客さまの同意なく第三者に開示することはございません。また、お客さまの個人情報は、セミナーの開催やお問い合わせ内容への回答等、プロジェクトの目的以外に利用いたしません。

二次元コードからもお申し込みいただけます。 オンライン参加をご希望の方には後日、視聴 URL をお送りします。



会場には駐車場がありません。お車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

### いわて事業承継プロジェクト

「後継者不在」や「成長戦略」に悩む岩手県内経営者の課題解決を図るために、岩手日報社といわぎんリサーチ&コンサルティングは、2025 年 6 月に業務提携契約を締結しました。両社の強みを生かし、M&A の情報発信を強化するとともに、岩手日報社に相談窓口を設置しています。本セミナーは業務提携後、初の共催セミナーです。M&Aを活用している経営者から、経営戦略や事業承継の手法に M&A をどう位置づけているか学ぶ機会とします。